

第5回

アッヴィ アートプロジェクト PERSPECTIVES

～疾患と生きる。私の新たな可能性～

受賞作品
決定!

「疾患と生きる。私の新たな可能性」をテーマに、患者さんご自身の心とカラダの変化、日々の想いや希望などを自由に表現いただく「アッヴィ アートプロジェクト PERSPECTIVES (パースペクティブズ)」。

5回目を迎えた今回も全国から個性あふれる素晴らしいアート作品126点が寄せられ、美術家の佐久間あすか氏をはじめとした審査員13名による厳正な審査を経て、受賞作品10点が決定いたしました。

【最優秀賞】



『紙飛行機の夢、もっと遠くへ』【絵画】

市川 孝子さん(82歳) 悪性関節リウマチ

【作者の想い】

息子がまだ幼かった時、膝には“金魚鉢の水くらい抜いた”と言われるほどの水がたまったり、あまりの身体の痛さに何もかもおろそかになりました。そんな時、幼稚園で紙飛行機を作ったのか、そんな母親に“紙飛行機でも飛ばうとするよ”と。その言葉にハッ!として前向きに生きよう、動けないながらもいろんなことを工夫して頑張りました。が、やがて神経麻痺も起き間質性肺炎も発病し、手の腱も切れ、足の指も小枝のように曲がり難病指定の患者となりました。でも、いつも思います。私の身体は紙飛行機。しかしこの紙飛行機の心はいつも未知の世界を飛んでいます。春になれば花畑上空を、虹が出ればそのトンネルをくぐり、海に潜ればイルカと遊び、星を見れば宙を舞い、オーロラのシャワーも浴び、いつも“もっと遠くへ”行きたい!と。

アッヴィ オンライン美術館

受賞作品や作品に込めた患者さんの想いを、バーチャル空間上の美術館でご覧いただけるサイトです。ぜひご鑑賞ください。
<https://www.da.abbvie.co.jp/onlinemuseum/2025/index.html>



受賞作品を含む全ての応募作品をご紹介します。ぜひご覧ください。
<https://www.abbvie.co.jp/pickup/artproject.html>



abbvie

第5回 アッヴィ アートプロジェクト PERSPECTIVES

【優秀賞】

『おなかのなかのうみ』【絵画】

古賀 綾乃さん (6歳)
潰瘍性大腸炎



【作者の想い】

わたしは、4さいでかいようせいだいちょうえんになりました。せんせいに「おなかのなかがかじになっているんだよ。」といわれたので、たくさんみずをかけてきえたらいいのになとおもいました。

このえは、おみずをたくさんのもで、おなかのかじがきえたえです。おなかのかじがきえたら、すきなものをたべられます。

おなかのなかのみずでいっぱいだから、たべたものがさかなになっておよいでいます。

【審査員賞】

『ぼくだけの光と影』

【ワイヤーアート】



J.A さん (17歳)
潰瘍性大腸炎

『希望のかたち』

【絵画】



竹原 優李さん (23歳)
潰瘍性大腸炎

『扉をあけて ～羽とともに～』

【工芸】



岩本 紗和さん (12歳)
若年性特発性関節炎 (小児リウマチ)
非感染性ぶどう膜炎、痛覚変調性疼痛

【佳作】

『「あなた」という私と
「自分」という私との
狭間が連れていく場所、
私はここで生きる』

【絵画】



小林 侑里香さん
(18歳)
アトピー性皮膚炎

『ふたつの心』

【絵画】



久保田 結さん
(17歳)
尋常性乾癬

『ループ』

【絵画】



吉田 美智さん
(22歳)
アトピー性皮膚炎

『孤独なイエロー』

【銅版画】



高崎 信子さん
(60歳)
掌蹠膿疱症

『わたしはくらげに なりた』

【粘土】



大槻 陽翠さん
(7歳)
若年性特発性関節炎
(小児リウマチ)